

派遣報告

生物科学専攻
倉光研究室 D1 中根 修平

シンポジウム名： Life Science Student Activity Fair 2009

場所：国立清華大学，新竹，台湾

期間：2009/5/13-2009/5/15

BMC プログラムの支援の下、台湾の新竹にある国立清華大学で行われた学生交流イベントに参加しました。交流イベントとは言っても内容は非常に充実したものであり、英語での口頭発表を 25 分と、英語でのポスター発表をこなし、よい経験になりました。

英語での口頭発表なんて初めて行うのでどうなることか、と思っていましたが、先生方が事前指導をしてくださったこともあり、当日は英語で堂々と発表ができたように思います。また、論文とも日常会話とも違うプレゼンテーション独特の英語表現なども学ぶことができたこともよい経験になりました。すごく緊張はしましたが、ポスター発表のときに、「スライドも発表もすごく分かりやすかった。いい発表だったよ。」と言われて英語で発表することに自身がつきました。

台湾ではライフサイエンスの研究が活発に行われていますが、今回訪れた国立清華大学は、近くに放射光施設があるためか、構造生物学に興味を持っている学生も多く、ポスターに載せた立体構造の図を見ながらディスカッションすることが多かったです。また、バイオインフォマティクスの研究も進んでいました。研究室の見学もさせてもらいましたが、多くの研究室の雰囲気や実験室の様子などは日本と近いと感じました。

学術交流以外でも、台湾の学生と一緒に宴会をしたり観光をしたりと、充実した時間を過ごすことができました。台湾の文化、食生活、台湾の学生の考えていること、日本との違い、などいろいろ勉強になりました。

最後に、今回の渡航をサポートして下さった BMC プログラムの関係者の皆様に深く感謝します。